



2018年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年5月14日

上場会社名 フリュー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6238 URL <http://www.furyu.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田坂 吉朗
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 財務経理部 部長 (氏名) 藤村 卓 TEL 03 (5728) 1761
 定時株主総会開催予定日 2018年6月26日 配当支払開始予定日 2018年6月7日
 有価証券報告書提出予定日 2018年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2018年3月期の連結業績（2017年4月1日～2018年3月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期	25,383	2.0	2,453	△37.4	2,474	△36.9	1,725	△38.3
2017年3月期	24,890	3.0	3,920	7.4	3,921	7.0	2,798	13.6

（注）包括利益 2018年3月期 1,642百万円（△43.7%） 2017年3月期 2,916百万円（28.5%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2018年3月期	60.99	—	10.5	11.0	9.7
2017年3月期	98.89	—	18.7	18.4	15.8

（参考）持分法投資損益 2018年3月期 2百万円 2017年3月期 △6百万円

当社は、2017年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年3月期	22,857	16,883	73.9	596.67
2017年3月期	22,324	16,089	72.1	568.63

（参考）自己資本 2018年3月期 16,883百万円 2017年3月期 16,089百万円

当社は、2017年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2018年3月期	2,609	△1,977	△852	11,470
2017年3月期	3,769	△1,550	△711	11,693

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2017年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00	848	30.3	5.7
2018年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00	848	49.2	5.1
2019年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00		48.8	

（注）当社は、2017年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△1.5	2,500	1.9	2,500	1.1	1,740	0.9	61.49

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年3月期	28,296,000株	2017年3月期	28,296,000株
② 期末自己株式数	2018年3月期	192株	2017年3月期	192株
③ 期中平均株式数	2018年3月期	28,295,808株	2017年3月期	28,295,871株

（注）当社は、2017年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

（参考）個別業績の概要

1. 2018年3月期の個別業績（2017年4月1日～2018年3月31日）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期	24,975	2.6	2,408	△36.8	2,468	△35.6	1,725	△36.4
2017年3月期	24,332	3.8	3,812	6.3	3,836	7.4	2,712	14.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期	60.99	—
2017年3月期	95.87	—

（注）当社は、2017年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年3月期	22,304	16,755	75.1	592.16
2017年3月期	21,656	15,950	73.6	563.69

（参考）自己資本 2018年3月期 16,755百万円 2017年3月期 15,950百万円

当社は、2017年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況

（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済状況は、近隣諸国の地政学リスクや欧米の政治・経済動向などに先行き不透明な状況がみられるものの、好調な企業収益を背景に雇用環境や設備投資は底堅く、景気は緩やかな回復基調が続いているものと考えられます。

このような環境において当社グループは、企業理念「人々のこころを豊かで幸せにする良質なエンタテインメントを創出する！」のもと、プリントシール事業の拡大、若年女性層の顧客基盤を活用したマネタイズの多様化、IP（知的財産）を軸としたキャラクター価値の最大化に注力してまいりました。

この結果、当連結会計年度における売上高は25,383百万円（前期比102.0%）、営業利益は2,453百万円（前期比62.6%）、経常利益は2,474百万円（前期比63.1%）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,725百万円（前期比61.7%）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(プリントシール事業)

プリントシール事業におきましては、2017年7月に「SALON AIR（サロンエア）」、同年11月に「これ以上可愛くなくてもいいですかー。」、2018年3月に「SUU.（スー）」の3つの新機種を発売いたしました。加えて、キャンペーン等の販促活動や、直営店「girls mignon（ガールズミニョン）」の新規出店等を積極的に行いました。

この結果、当連結会計年度の売上高は9,075百万円（前期比99.8%）、営業利益は1,097百万円（前期比85.5%）となりました。

(コンテンツ・メディア事業)

コンテンツ・メディア事業におきましては、プリントシール画像取得・閲覧サービス「ピクトリンク」の入会促進施策と継続利用促進施策に取り組み、2018年3月末における有料会員数は161万人となりました。また、WEBマガジンやメール広告「プリアドメール」、カラーコンタクトレンズの販売等は堅調に推移いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は8,396百万円（前期比105.6%）、営業利益は4,150百万円（前期比96.4%）となりました。

(キャラクタ・マーチャンダイジング事業)

キャラクタ・マーチャンダイジング事業におきましては、多数の新規キャラクター版権の獲得とその商品化を行いました。前期主力商品に匹敵するような売上の獲得に至らず、前年度の売上を下回りました。

この結果、当連結会計年度の売上高は4,861百万円（前期比93.7%）、営業利益は128百万円（前期比32.2%）となりました。

(ゲーム事業)

ゲーム事業におきましては、ニンテンドー3DSTM向けオリジナルタイトル「アライアンス・アライブ」の発売や、スマートフォン向けオリジナルゲーム「恋愛幕末カレシ〜時の彼方で花咲く恋〜」、「ばすてるメモリーズ」の配信開始、並びに人気TVアニメ「ゆるキャン△」のBlu-ray・DVDの発売等により売上は伸ばしたものの、当初見込んでいた売上水準には至らず、開発費や広告宣伝費等の増加もあり営業損失は拡大いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は2,641百万円（前期比125.7%）、営業損失は1,556百万円（前連結会計年度は、876百万円の営業損失）となりました。

(その他)

その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版事業等を行っております。

当連結会計年度の売上高は407百万円（前期比73.0%）、営業利益は36百万円（前期比37.0%）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産の部

流動資産は18,865百万円と前連結会計年度末比349百万円増加しました。これは主に電子記録債権165百万円の増加、商品及び製品180百万円の増加によるものであります。

固定資産は、3,991百万円と前連結会計年度末比183百万円増加しました。これは主に繰延税金資産86百万円の増加によるものであります。

以上の結果、当連結会計年度末の総資産は22,857百万円となり、前連結会計年度末比533百万円増加しました。

②負債の部

流動負債は5,173百万円と前連結会計年度末比371百万円減少しました。これは主に未払法人税等247百万円の減少によるものであります。

固定負債は801百万円と前連結会計年度末比111百万円増加しました。これは主に退職給付に係る負債113百万円の増加によるものであります。

以上の結果、当連結会計年度末の負債合計は5,974百万円となり、前連結会計年度末比260百万円減少しました。

③純資産の部

純資産は16,883百万円と前連結会計年度末比793百万円増加しました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物は、営業活動による収入が投資活動及び財務活動による支出を下回ったため、前連結会計年度末に比べ223百万円減少し11,470百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動においては、税金等調整前当期純利益を2,467百万円、減価償却費を1,877百万円計上しました。また、売上債権が216百万円増加、未払金が352百万円減少し、法人税等の支払額が1,039百万円となりました。その結果、営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度（3,769百万円の収入）に比べ1,160百万円収入が減少し2,609百万円の収入となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動においては、有形固定資産の取得による支出が1,679百万円、無形固定資産の取得による支出が262百万円となりました。その結果、投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度（1,550百万円の支出）に比べ426百万円支出が増加し1,977百万円の支出となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動においては、セール・アンド・リースバックによる収入が1,217百万円あった一方で、リース債務の返済による支出が1,221百万円、配当金の支払額が848百万円となりました。その結果、財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度（711百万円の支出）に比べ140百万円支出が増加し852百万円の支出となりました。

(4) 今後の見通し

新機軸のプリントシール機発売や、直営店「girls mignon」の新規出店等により、ユーザーのさらなる増加を見込みます。新規ユーザーをプリントシール画像取得・閲覧サービス「ピクトリンク」へ誘導するとともに、WEBマガジンや、カラーコンタクトレンズの販売等、若年女性層向けサービスの拡充をさらに推し進めます。

一方、IP（知的財産）を活用した商品については、アミューズメント施設向けクレーンゲーム景品をはじめ、アニメ化やゲーム化を通じたメディアミックス展開により、商品群の拡充を図ります。また、ゲームセグメントにおける広告宣伝費等を中心として費用の見直しを図ります。

連結業績予想につきましては、売上高は25,000百万円（前期比98.5%）、営業利益は2,500百万円（同101.9%）、経常利益は2,500百万円（同101.1%）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,740百万円（同100.9%）としております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、持続的な成長と企業価値向上につながる戦略的投資を優先的に実行することが、株主共通の利益に資すると考えております。加えて、当社は、株主に対する利益還元についても重要な経営上の施策の一つとして認識しており、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本として位置づけ、業績の動向や将来の成長投資に必要となる内部留保の充実や財務基盤の確立を総合的に勘案した利益還元を行うことを基本方針としております。なお、剰余金の配当の決定機関は取締役会であります。

この基本方針に従って、当期の期末配当につきましては、1株当たり30円といたします。なお、次期の配当につきましても、1株当たり30円の期末配当を予定しております。

内部留保資金については、戦略的な成長投資に充当することにより企業価値の向上を図ってまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当連結会計年度 (2018年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,693,790	11,470,684
受取手形及び売掛金	3,995,327	4,046,105
電子記録債権	600,364	765,860
商品及び製品	891,630	1,072,265
仕掛品	17,632	31,506
原材料及び貯蔵品	152,740	144,590
繰延税金資産	266,430	295,558
未収入金	348,984	425,040
その他	563,314	618,667
貸倒引当金	△13,531	△4,421
流動資産合計	18,516,683	18,865,858
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	131,668	180,343
リース資産（純額）	1,858,274	1,778,588
その他（純額）	475,708	511,843
有形固定資産合計	2,465,650	2,470,775
無形固定資産		
ソフトウェア	120,374	152,612
その他	110,121	107,574
無形固定資産合計	230,496	260,187
投資その他の資産		
投資有価証券	142,432	137,656
敷金及び保証金	338,547	391,867
繰延税金資産	561,281	648,155
その他	82,787	96,543
貸倒引当金	△13,147	△13,233
投資その他の資産合計	1,111,900	1,260,988
固定資産合計	3,808,047	3,991,951
資産合計	22,324,730	22,857,809

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当連結会計年度 (2018年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	787,050	741,584
電子記録債務	1,481,015	1,523,031
リース債務	320,171	335,686
未払金	837,025	639,612
未払費用	1,034,222	1,142,889
未払法人税等	545,252	297,282
未払消費税等	164,244	53,479
賞与引当金	5,945	5,667
返品調整引当金	142,092	130,325
その他	228,496	304,054
流動負債合計	5,545,517	5,173,613
固定負債		
リース債務	6,449	4,090
退職給付に係る負債	676,293	790,283
その他	6,629	6,629
固定負債合計	689,373	801,004
負債合計	6,234,890	5,974,617
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,639,216	1,639,216
資本剰余金	1,639,216	1,639,216
利益剰余金	12,837,020	13,713,813
自己株式	△178	△178
株主資本合計	16,115,273	16,992,066
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	52,280	△19,028
退職給付に係る調整累計額	△77,714	△89,846
その他の包括利益累計額合計	△25,433	△108,874
純資産合計	16,089,839	16,883,191
負債純資産合計	22,324,730	22,857,809

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
売上高	24,890,962	25,383,292
売上原価	11,010,289	11,739,893
売上総利益	13,880,672	13,643,399
販売費及び一般管理費	9,960,026	11,189,917
営業利益	3,920,646	2,453,481
営業外収益		
債務整理益	13,519	3,318
投資事業組合運用益	—	21,004
持分法による投資利益	—	2,509
その他	819	1,825
営業外収益合計	14,339	28,657
営業外費用		
支払利息	313	674
為替差損	984	5,122
投資事業組合運用損	3,790	—
持分法による投資損失	6,783	—
その他	1,856	1,393
営業外費用合計	13,728	7,190
経常利益	3,921,257	2,474,948
特別利益		
固定資産売却益	188	159
特別利益合計	188	159
特別損失		
固定資産除売却損	6,855	7,734
出資金評価損	10,000	—
ゴルフ会員権評価損	3,640	—
特別損失合計	20,495	7,734
税金等調整前当期純利益	3,900,949	2,467,374
法人税、住民税及び事業税	1,108,818	820,626
法人税等調整額	△6,014	△78,919
法人税等合計	1,102,803	741,706
当期純利益	2,798,146	1,725,667
親会社株主に帰属する当期純利益	2,798,146	1,725,667

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
当期純利益	2,798,146	1,725,667
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	134,421	△71,308
退職給付に係る調整額	△16,367	△12,131
その他の包括利益合計	118,053	△83,440
包括利益	2,916,199	1,642,226
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,916,199	1,642,226
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,639,216	1,639,216	10,746,274	—	14,024,706
当期変動額					
剰余金の配当			△707,400		△707,400
自己株式の取得				△178	△178
親会社株主に帰属する当期純利益			2,798,146		2,798,146
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,090,746	△178	2,090,567
当期末残高	1,639,216	1,639,216	12,837,020	△178	16,115,273

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△82,140	△61,346	△143,487	13,881,218
当期変動額				
剰余金の配当				△707,400
自己株式の取得				△178
親会社株主に帰属する当期純利益				2,798,146
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	134,421	△16,367	118,053	118,053
当期変動額合計	134,421	△16,367	118,053	2,208,620
当期末残高	52,280	△77,714	△25,433	16,089,839

当連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,639,216	1,639,216	12,837,020	△178	16,115,273
当期変動額					
剰余金の配当			△848,874		△848,874
親会社株主に帰属する当期純利益			1,725,667		1,725,667
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	876,792	—	876,792
当期末残高	1,639,216	1,639,216	13,713,813	△178	16,992,066

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	52,280	△77,714	△25,433	16,089,839
当期変動額				
剰余金の配当				△848,874
親会社株主に帰属する当期純利益				1,725,667
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△71,308	△12,131	△83,440	△83,440
当期変動額合計	△71,308	△12,131	△83,440	793,352
当期末残高	△19,028	△89,846	△108,874	16,883,191

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,900,949	2,467,374
減価償却費	1,621,295	1,877,809
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	813	△9,024
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△588	△278
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△23,648	△11,767
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	66,413	89,429
受取利息及び受取配当金	△56	△48
持分法による投資損益 (△は益)	6,783	△2,509
支払利息	313	674
固定資産除売却損益 (△は益)	6,667	7,574
出資金評価損	10,000	—
ゴルフ会員権評価損	3,640	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△444,839	△216,274
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△84,437	△186,358
未収入金の増減額 (△は増加)	31,513	△59,361
仕入債務の増減額 (△は減少)	△125,682	△3,450
未払金の増減額 (△は減少)	163,747	△352,780
未払費用の増減額 (△は減少)	161,984	108,666
その他	△238,703	△60,445
小計	5,056,166	3,649,229
利息及び配当金の受取額	56	48
利息の支払額	△313	△674
法人税等の支払額	△1,285,922	△1,039,412
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,769,986	2,609,191
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,572,302	△1,679,200
有形固定資産の売却による収入	3,801	1,840
無形固定資産の取得による支出	△252,946	△262,573
保険積立金の解約による収入	332,326	—
差入保証金の差入による支出	△41,554	△65,390
その他	△20,000	27,900
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,550,675	△1,977,423
財務活動によるキャッシュ・フロー		
セール・アンド・リースバックによる収入	1,150,990	1,217,893
リース債務の返済による支出	△1,154,764	△1,221,188
自己株式の取得による支出	△178	—
配当金の支払額	△707,400	△848,874
財務活動によるキャッシュ・フロー	△711,352	△852,169
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,020	△2,703
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,496,938	△223,106
現金及び現金同等物の期首残高	10,196,851	11,693,790
現金及び現金同等物の期末残高	11,693,790	11,470,684

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「償却債権取立益」は金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度においては「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「償却債権取立益」に表示していた44千円は、「その他」として組み替えております。

前連結会計年度において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「為替差損」は、営業外費用の総額の100分の10を超えたため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた2,840千円は、「為替差損」984千円、「その他」1,856千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱うサービスを事業単位の基礎として、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、サービス別のセグメントから構成されており、「プリントシール事業」、「コンテンツ・メディア事業」及び「キャラクタ・マーチャンダイジング事業」並びに「ゲーム事業」の4つを報告セグメントとしております。

「プリントシール事業」は、プリントシール機及びその消耗品であるシール紙の販売を中心とした事業です。「コンテンツ・メディア事業」は、プリントシール機の画像取得・閲覧サービスである「ピクトリンク」を中心としたインターネット上のコンテンツ・メディアの運営等を行っている事業です。「キャラクタ・マーチャンダイジング事業」は、許諾を受けたキャラクター版権を利用し、アミューズメント施設が提供するクレーンゲーム用のぬいぐるみ、フィギュア等の企画・販売を中心とした事業です。「ゲーム事業」は、家庭用ゲームソフトやデジタルコンテンツプラットフォームに対応したソーシャルゲームの企画・販売を中心とした事業です。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	プリントシール 事業	コンテンツ・メ ディア事業	キャラクタ・マ ーチャндаイジ ング事業	ゲーム事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	9,090,629	7,950,306	5,189,874	2,101,418	24,332,228
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,090,629	7,950,306	5,189,874	2,101,418	24,332,228
セグメント利益又は損失(△)	1,284,321	4,304,871	398,278	△876,617	5,110,854
セグメント資産	3,157,832	236,853	139,942	509,680	4,044,308
その他の項目					
減価償却費	1,261,332	14,867	14,066	254,501	1,544,769
持分法適用会社への投資額	—	—	—	35,716	35,716
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,205,911	35,541	32,847	527,066	1,801,367

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表計 上額(注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	558,733	24,890,962	—	24,890,962
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,507	1,507	△1,507	—
計	560,240	24,892,469	△1,507	24,890,962
セグメント利益又は損失(△)	99,859	5,210,713	△1,290,067	3,920,646
セグメント資産	90,040	4,134,349	18,190,381	22,324,730
その他の項目				
減価償却費	3,250	1,548,019	73,276	1,621,295
持分法適用会社への投資額	—	35,716	—	35,716
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	6,643	1,808,010	99,870	1,907,880

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、書籍の出版事業等を行っております。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△1,290,067千円には、全社費用△1,297,867千円、セグメント間取引7,800千円が含まれております。

セグメント資産の調整額18,190,381千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

全社資産は主に現金及び預金であります。

有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額99,870千円は、報告セグメントに含まれない全社設備投資であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	プリントシール 事業	コンテンツ・メ ディア事業	キャラクタ・マ ーチャンダイジ ング事業	ゲーム事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	9,075,463	8,396,924	4,861,160	2,641,960	24,975,508
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,075,463	8,396,924	4,861,160	2,641,960	24,975,508
セグメント利益又は損失(△)	1,097,731	4,150,684	128,330	△1,556,370	3,820,376
セグメント資産	3,265,002	448,575	115,995	487,414	4,316,987
その他の項目					
減価償却費	1,296,188	40,003	9,952	444,299	1,790,444
持分法適用会社への投資額	—	—	—	38,226	38,226
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,299,383	125,512	1,137	415,211	1,841,245

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表計 上額(注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	407,783	25,383,292	—	25,383,292
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	407,783	25,383,292	—	25,383,292
セグメント利益又は損失(△)	36,967	3,857,343	△1,403,862	2,453,481
セグメント資産	137,502	4,454,489	18,403,320	22,857,809
その他の項目				
減価償却費	2,834	1,793,278	84,530	1,877,809
持分法適用会社への投資額	—	38,226	—	38,226
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	—	1,841,245	95,616	1,936,862

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、書籍の出版事業等を行っております。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△1,403,862千円には、全社費用△1,411,662千円、セグメント間取引7,800千円が含まれております。

セグメント資産の調整額18,403,320千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

全社資産は主に現金及び預金であります。

有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額95,616千円は、報告セグメントに含まれない全社設備投資であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2016年4月1日 至 2017年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に存在する子会社及び支店がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
㈱NTTドコモ	2,648,280	主としてコンテンツ・メディア事業

当連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に存在する子会社及び支店がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
㈱NTTドコモ	2,524,309	主としてコンテンツ・メディア事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
1株当たり純資産額	568.63円	596.67円
1株当たり当期純利益金額	98.89円	60.99円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 当社は、2017年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額を算定しております。
 3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	2,798,146	1,725,667
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(千円)	2,798,146	1,725,667
期中平均株式数(株)	28,295,871	28,295,808

(重要な後発事象)

該当事項はありません。